

文化・教育プログラムとは

ユースオリンピック大会（YOG）は2007年7月にグアテマラシティで開かれた国際オリンピック委員会（IOC）総会において、ジャック・ロゲ会長が、青少年にもオリンピックを体験させようと提案し開催が決定した。第1回ユースオリンピック競技大会は205の国と地域から約5,000人の14歳から18歳までの若い選手が26の競技と5つのテーマ、7つのタイプの文化・教育プログラムに参加する。

■ 文化教育プログラム（CEP） ■

ユースオリンピック競技大会（YOG）のビジョンは、スポーツと文化、教育を統合するイベントとすることにある。文化教育プログラム（CEP）は、シンガポール2010ユースオリンピック競技大会（シンガポール2010）にとって不可欠な要素であり、すべての参加者の思い出に残る、感動的な体験になるものと思われる。若いアスリートのために構成された CEP は、アスリートを真のチャンピオンへと導き、卓越と友好、信頼というオリンピックの意義を実感し、具体的に表現してもらうことを目的としている。

概要

CEP は、楽しく交流できる活動を通じ、アスリートにオリンピックの意義を学び、再認識し、どうすればこれらの意義を日常生活に反映できるかを考えてもらおうというものである。このプログラムを通じて、アスリートは以下のことを実現することができる。

- オリンピズム、オリンピック・ムーブメント、そして地球とスポーツの問題を学ぶことができる
- 将来を自分自身で思い描くことによって、自分の周りの人々と環境に良い影響を与えることができる
- 他の参加者との交流を通じ、新しいアイデアを学び、新しい文化に触れることができる
- 多様な文化と人々をひとつにするオリンピック精神の力を実感することによって、オリンピックの意義、そして世界の文化の多様性を称えることができる

CEP 活動は、アスリートにオリンピックの意義をより良く認識し、実感してもらうため、以下の5つの主なテーマに沿って行われる。

- オリンピズム—現代に至るオリンピック競技大会の起源、哲学、構造、進化を辿る

- スキル開発- 自己開発、人生における過渡期の管理を含め、プロのアスリートのキャリアにおけるさまざまな面を考察する
- 幸福で健康なライフスタイル- 健康的な食事およびスポーツにおけるアンチ・ドーピングを含む健康なライフスタイルを推進する
- 社会的責任- 自分自身のコミュニティにおける責任あるメンバーとしての役割に対する認識を向上させ、環境および持続可能な開発への貢献を通じ、責任ある地球市民となるためにアスリートがすべきことを考察する
- 表現- デジタルメディアの採用、およびユースオリンピック選手村（YOV）で行われるイブニングフェスティバルへの参加を通じ、学習および交流を深める

これら5つのテーマに基づき、CEP活動は、YOV内外でのアスリートのさまざまな関心、ニーズに応える。12日間の競技大会期間中、アスリートのために50以上のCEP活動が予定されている。

CEP活動は、7つのフォーマットで提供される。

YOV 内の活動

チャンピオンとの会話

参加者は、ロールモデルとなるアスリートと間近に接し、卓越と友好、信頼というオリンピックの意義に関する個人的、感動的な話を聞かせてもらうことができる。

アスリート・ロールモデルは、楽しいトークショー形式で行われる対話セッションを通じて自らの体験を話す。アスリート・ロールモデルには、オリンピック選手およびIOCアスリート委員会のメンバーが含まれる。



Chat with
Champions
*Discussion avec
les champions*

ディスカバリー活動

参加者は、インタラクティブな展示やワークショップを通じ、人生におけるチャンピオンになるためのテーマを探求する。

アスリートとその友人は、世話役が主導するワークショップで1時間の楽しい活動に参加し、競技と健康的な食事、またスポーツ競技と勉強を両立する方法等を学ぶ。

オリンピックギャラリーでは、インタラクティブで魅力的な展示を行い、若いアスリートはここで、オリンピズムやオリンピック・ムーブメントの歴史を学ぶことができる。キャリア・コリドールでは、スポーツ産業におけるキャリアの選択肢を探求し、こ



Discovery
Activity
*Activité de
découverte*

これらの職業に就くために必要な特性、知識、スキルを知ることができる。

アスリートはまた、さまざまな国際機関が設置するインタラクティブな展示を通じ、地球の問題についてさらに学ぶ機会を与えられる。

ワールドカルチャービレッジ

選手村スクエア内にあるワールドカルチャービレッジは、国際的なビジターが互いに交流するための中心的な場所となる。参加 205 国内オリンピック委員会 (NOC) を取り上げる文化ブースが設置され、シンガポールの若者がホストを務める。各ブースのホストは、ビジターに、さまざまな文化を探索し、楽しい活動や伝統的なゲームに参加するよう促す。



World
Culture Village
*Village des
cultures du monde*

コミュニティプロジェクト

参加者と地元の受益者が一緒に、太鼓や曲芸芸術といった楽しい活動に参加する。これらの活動を通じ、参加者は受益者と友人になることで社会的責任を学び、自分自身の社会に戻ってからの貢献を促される。



Community
Project
*Projet
communautaire*

芸術と文化

参加者は楽しい音楽パフォーマンス、ダンスおよび感動的な芸術作品を楽しむことができる。YOV 滞在者は、イブニングフェスティバルに参加し、オリンピックをテーマとするさまざまな美術展示品を堪能することができる。これらの活動は、競技大会で形成される若者への称賛、文化、そして友情を前面に引き出すことを目的としている。



Arts and
Culture
Arts et culture

YOV 外の活動

アイランドアドベンチャー

自分の競技を終えたアスリートには、アイランドアドベンチャーが提供する屋外活動をぜひ楽しんでいただきたい。参加者はチームになって、自信形成コースや水を使った活動、体力チャレンジに挑むことになる。訓練を受けたインストラクターの下、これらのチャレンジを克服するためには、チームワーク、相互信頼、そして友情が不可欠である。



Island
Adventure
L'île de l'aventure

冒険は午前中から始まり、フェリーですぐに行けるシンガポール沖の島々のひと

つ、ウビン島 (Pulau Ubin)¹ に向かう。島に着いたアスリートたちは、さまざまな楽しい活動に参加する。大きなドラム缶と棒、ロープを使っていかだを作ったり、チームでボートこぎ競争をしたり、ロッククライミングや「逆さタワー」ロープコース等に挑戦することもできる。さらに、島に生息するフルーツや動植物の説明も受けることができる。

アイランドアドベンチャーに参加するアスリートは、水筒とタオル、着替え、そして水を使った活動用の靴を用意すること。活動後、顔や手を洗って着替えることができる。昼食はウビン島で提供され、夕食は YOV に戻ってからとる。

探検旅行

アスリートは、シンガポールの最新の環境テーマパークであるホートパークおよびマリーナ・バレッジへの半日の探検旅行に参加することができる。

ホートパークでは、テラリウム・ワークショップとガーデンツアーに参加することができる。

テラリウム・ワークショップでは、アスリートは地球の生態系を真似たミニ・ガーデンをガラス瓶の中で作ることによって、自然の生態系の重要性に触れることができる。

ガーデンツアーでは、アスリートは、2つの庭園を訪問し、具体的な環境問題について学ぶ。参加者たちは、母国における環境イニシアチブについて、考察や議論する機会を得る。また、両庭園においては、アスリートを対象とする実践的活動も予定されている。

マリーナ・バレッジにおいてアスリートは、マリーナ湾のウォーターフロントとシンガポールの都市スカイラインを望む絶景を楽しむことのできるユニークな場所で行われる4つの活動を通じて、持続可能な水管理を学ぶことができる。

この旅行にはギャラリーおよびグリーンルーフへのツアーが含まれ、アスリートたちはここで、地球の生態系に対する脅威と環境を守るための方策に焦点を当てたインタラクティブな展示を探求することができる。

アスリートはまた、水とエネルギーをテーマにした3つのチャレンジを体験することができる。このような体験型の楽しい活動を通じて、アスリートたちは飲料に適した水が非常に少ないということ、水質汚染の結果、そして再生可能でクリーンなエネルギー源を使用することの利点に対する認識を深めることができる。



Exploration
Journey
*Journée
d'exploration*

1 Palau という言葉は、シンガポールの4つの公用語のひとつであるマレー語で、島という意味である。マレー語は、マレーシア、ブルネイおよびインドネシアを含む近隣諸国で広く使われている。